

☆「ちびマッチ」生誕20周年BASEBALL FES ☆

百田陽菜旗争奪第15回記念 ちびマッチ選手権九州大会

～ちびっ子たちに試合経験と交流を！～

出場選手 小学4年生以下のちびっこ選手たち

予選リーグ

出場：宮崎・鹿児島・福岡・佐賀・熊本・山口6県

日程：5月23日（土）～10月18日（日）

形式：1パート5～6チームによるリーグ戦形式

※自主対戦制により全チームが4～5試合ずつを実施

九州大会

(単独チーム部門)
(合同チーム部門)

出場：九州・山口8県の各県代表42チーム

★単独チーム部門：36チーム ★合同チーム部門：6チーム

日程：11月7日（土）・8日（日）・14日（土）

※予備日は15日（日）



前年度『百田陽菜旗争奪第14回ちびマッチ選手権九州大会』

■九州大会（単独チーム部門）

☆優勝 ☆福岡ジュニアファルコンズ（福岡県代表）

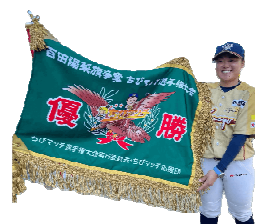
☆準優勝 ☆宇土ブルーナイン（熊本県代表）

☆第三位 ☆住吉ベースボールクラブ（宮崎県代表）、
波佐見鴻ノ巣少年野球クラブ（長崎県代表）

■九州決戦（合同チーム部門）

☆優勝 ☆三田川・東脊振合同（佐賀県代表）

☆準優勝 ☆三桜ボーイズ（佐賀県代表）



主催：ちびマッチ応援団

後援：筑紫少年野球サンデーリーグ連盟

① 投球制限の変更

昨年：1日1試合まで・1試合最長5回まで。

→ 今年：1日1試合まで・**1日60球まで**。

② ボークについて（九州大会のみ）

昨年：一度目は注意としてランナーを元の塁に戻し、

二度目からは勉強のため、通常のルール通りにボークを宣告する。

→ 今年：**一度目から、通常のルール通りにボークを取る**こととする。

※予選リーグでは、これまで通り、一度目は注意としてランナーを元の塁に戻し、

二度目からは勉強のため、通常のルール通りにボークを宣告する。

※ 上記①・②などの開催規則の詳細は、7・8ページ目の「九州大会開催規則」の内容を参照下さい。

③ 山口県でも、予選リーグを初開催！

10チーム前後が出場予定（現在、調整中）。

→ 山口県の代表2チームが九州大会に進出。

④ 九州大会の各名称を次の通りとします。

単独チームの九州大会 → 九州大会・単独チーム部門

合同チームの九州大会 → 九州大会・合同チーム部門



百田陽菜旗争奪第15回記念ちびマッチ選手権九州大会 開催要綱

主催	ちびマッチ応援団（大会実行委員長：ちびマッチ応援団・団長 吉田光寛）		
主管	ちびマッチ選手権大会実行委員会	後援	筑紫少年野球サンデーリーグ連盟
協賛	株式会社 アルペン Alpen FUKUOKA、ケーブルステーション福岡、株式会社 ちくしの郷・匠、株式会社 プルペンス、マルエス 株式会社（五十音順、敬称略）		
協力	筑紫CBC、NPO法人ふくおかスポーツ応援隊（五十音順、敬称略）		
昨年度の実行委員会チーム	青山少年、大野城少年野球、大野ヤングライオンズ、大野リトルファイターズ、春日少年野球、太宰府ブレーブス、筑紫野サターズ、筑紫野リトルホークス、月の浦フェニックス、二日市ジュニアーズ（五十音順）		
寄贈	優勝カップ・準優勝盾：筑紫少年野球サンデーリーグ連盟・前会長 田畑照雄 様 優勝旗：女子硬式野球クラブチーム・九州ハニーズ 百田陽菜 選手（ちびマッチ出場選手） ※百田選手の球歴／夜須イーグルス～久留米ベースボールクラブ GO AHEAD ～神戸弘陵高等学校～九州ハニーズ		
開催主旨	一、上級生に比べて試合経験が少ない小学4年生以下のちびっこ選手たちが様々な地区の多くのチームとの試合経験を積み、交流を深められるようにする。 二、様々な役割を参加全チーム・参加者全員で責任を持って分担しながら、様々な地区の多くのチームのちびっこ選手たちや指導者・応援団の皆さんとの交流を積極的且つ主体的に図り、深めていける機会を設ける。 三、「予選リーグでのパート一位」や「九州No. 1」、「優勝」や「メダル獲得」などの明確な目標をちびっこ選手たちが持つことによって、野球に対するモチベーションを更に向上していき、日々の練習をより懸命に取り組み、野球を今以上に大好きになっていくことを図ると共に、野球の普及と振興、野球人口の増加にも繋げていくようにしていく。		
出場チーム	★単独チーム部門：36チーム 前年度単独チーム部門優勝1チーム（福岡ジュニアファルコンズ）、 予選リーグの各パートの代表24チーム（宮崎・鹿児島・福岡・佐賀・熊本・山口6県の代表） 長崎県代表2チーム、大分県代表2チーム、実行委員会代表7チーム ★合同チーム部門：6チーム 宮崎・鹿児島・福岡・佐賀・熊本5県の代表4チーム、 大分県代表1チーム、長崎県代表1チーム		
合同チーム	定義／各県の予選出場申込時に、小学4年生以下の選手が9名未満同士のチームの合同とする。 九州大会への進出方法／宮崎・鹿児島・福岡・佐賀・熊本・山口6県の合同チームの中で、予選リーグの成績上位4チームが代表チームとして九州大会・合同チーム部門に進出する。 注意点／単独チームで出場申込をしたチームが、1試合でも他チームの選手を自チームの選手として試合に出場させた場合は、合同チームとしての出場に切り替える。		



出場資格	<p>一、開催趣旨に賛同して各内容を実践し、開催規則を選手も大人も全員が順守出来るチーム。</p> <p>二、単独チーム、もしくは、合同チームとして、小学4年生以下の選手で試合を行えるチーム。 ※単独チームで出場申込をしたチームが、1試合でも他チームの選手を自チームの選手として試合に出場させた場合は、その単独チームを合同チームとしての出場に切り替える。</p> <p>三、九州大会において、決められた日程・時間・会場で試合が出来るチーム。 ※試合の日時や会場に関する変更の申し出は一切受け付けない。</p> <p>四、スポーツ保険に加入している小学4年生以下の男女（出場判断は各チームの責任とする）。 ※ユニフォームや背番号が揃っていなくても、その試合のメンバー表に記名されていれば、試合出場やベンチ入りが可能。</p>
-------------	--

大会形式	トーナメント戦にて、単独チーム部門・合同チーム部門での各九州No. 1チームを決定する。
-------------	--

日程	2026年11月7日（土）・8日（日）・14日（土） ※予備日は11月15日（日）
-----------	---

会場	<p>筑紫（ちくし）運動広場（福岡県筑紫野市諸田172）／通称：農トレ</p> <p>御笠（みかさ）運動広場（福岡県筑紫野市阿志岐278-1）／通称：御笠グラウンド</p> <p>諸田（もろた）グラウンド／筑紫野市総合保健福祉センター カミーリヤ（筑紫野市岡田3-11-1）の前</p> <p>筑紫野市総合公園球場（福岡県筑紫野市山口382-6）／通称：天拝湖（てんぱいこ）球場</p> <p>北谷（きただに）運動公園野球場（福岡県太宰府市大字北谷941番地1）</p> <p>松川（まつごう）運動公園多目的グラウンド（福岡県太宰府市御笠5-3-1）</p>
-----------	---

開会式	<p>日時／2026年11月7日（土） ※時間は調整中 → 7月末までに最終決定。</p> <p>会場／調整中 → 7月末までに最終決定。</p> <p>入場行進／行います。団旗とプラカードを持参下さい。</p> <p>人数制限／調整中 → 7月末までに最終決定。</p> <p>台数制限／調整中 → 7月末までに最終決定。</p> <p>※その他の注意点／調整中 → 7月末までに最終決定。</p>
------------	--

参加費	<p>① 当大会直轄の予選リーグに出場するチーム／福岡・佐賀・熊本・宮崎・鹿児島・山口6県の代表チーム：12,000円</p> <p>② 各県独自の予選大会に出場するチーム／大分県・長崎県の代表チーム：14,000円</p> <p>※10月18日（日）までに、次の口座へお振り込み下さい／申し訳ありませんが、振込手数料はご負担願います。</p> <p>福岡銀行 太宰府支店(店番279) 普通 1311844 ちびっこ野球応援団 団長 吉田光寛(ヨシダ ミツヒロ)</p>
------------	--

試合球	マルエス軟式J号試合球 ※ちびっこ野球応援購入より主催者で準備。
------------	----------------------------------

審判	二審制／全軟審判員 ※ちびっこ野球応援購入より主催者で準備。
-----------	--------------------------------

表彰	<p>☆優勝／優勝カップ、優勝旗、賞状、トロフィー、金メダル（15個）、副賞</p> <p>☆準優勝／準優勝盾、賞状、トロフィー、銀メダル（15個）、副賞</p> <p>☆第三位（2チーム）／賞状、トロフィー、銅メダル（15個）、副賞</p> <p>☆最優秀選手賞（1名）／賞状、副賞 ☆敢闘賞（3名）／賞状、副賞</p>
-----------	---



表彰	<p>☆優勝／優勝トロフィー、賞状、金メダル（15個）、副賞</p> <p>☆準優勝／準優勝トロフィー、賞状、副賞 ☆最優秀選手賞（1名）／賞状、副賞</p>
-----------	---

予選リーグ 開催要綱

日 程	2026年5月23日（土）～10月18日（日）／パート代表決定戦も含む。 ※自主対戦制／各試合の予定は、各パート内での話し合いによって決めていく。
形 式	自主対戦制による、リーグ戦形式（パート内総当たり戦）。 ※1パートが6チーム構成、全チームが5試合ずつを行う。 （参加チーム数によって変動有り）
順 位	勝ち点制で順位を決定する。 勝利：10点、1回目のタイブレークでの勝利：9点、2回目のタイブレークでの勝利：8点、 ジャンケンでの勝利：7点、不戦勝（相手チームが辞退した場合）：6点、 1回目のタイブレークでの敗北：4点、2回目のタイブレークでの敗北：3点、 ジャンケンでの敗北：2点、敗北：1点、不戦敗（辞退をした場合）：0点。
進 出 九州大会 （単独チーム）	各パートの中で、予選リーグを全試合終え、且つ、「合同チーム」以外の勝ち点が最も良い 1チームのみが、そのパートの代表チームとして九州大会に進出する（全試合終了が必須条件）。 ※最終的に複数のチームの勝ち点が同点で一位になった場合は、次の方法で代表チームを 1チームだけ決める。 ① 該当のチーム間だけでの直接対決で、勝ち点が最も良い1チームを代表チームとする。 ② それでも同点の場合は、10月18日（日）までに「パート代表決定戦」を一度行う。 ③ なお決着が付かない場合、または、10月18日（日）までに「パート代表決定戦」 を行えなかった場合は、主催者立ち会いの下での抽選によって代表チームを決める。
推 薦 九州大会 （単独チーム）	前年度優勝チームや実行委員会チームがそのパートの代表チームとなり、九州大会での「前年度 優勝チーム」「実行委員会代表チーム」の出場枠が空いた場合は、実行委員会「推薦チーム協 議会」を開き、推薦チームとして九州大会に進出するチームを決定する。 ※主な推薦基準：あいさつ、礼儀、応援マナー、ルール順守、試合の進捗、等。
進 出 九州決戦 （合同チーム）	予選リーグを全試合終えた6県の合同チームの中で、「平均勝ち点」が高い順から4チーム （一位～四位）が九州決戦に進出する（全試合終了が必須条件）。 ※「平均勝ち点」＝最終的な勝ち点÷全試合数 上記の方法で決まらない場合は、大会実行委員会による代理抽選によって決定する。
試 合 球	マルエス軟式J号試合球。 ※試合で対戦する両チームで準備し、出し合うこと。
審 判	各パート内での話し合いによって、各チームから出し合うこととする。 ※全軟審判員等、外部審判への依頼も可。
参 加 費	1チーム 5,000円 ※下記の口座へ、4月30日（木）までにお振り込み下さい。 （申し訳ありませんが、振込手数料はご負担願います）。 福岡銀行 太宰府支店(店番279) 普通 1311844 ちびマッチ応援団 団長 吉田光寛(ヨシダ ミツヒロ)

抽 選 会
宮 崎
・
鹿 児 島
2 県 合 同 開 催

日 時 / 2026年5月17日 (日) 15:00~17:00 ※受付 / 14:40~14:

会 場 / 国分公民館 3階・中研修室

・鹿児島県霧島市国分中央3丁目45-1 ・TEL:0995-64-0920

<https://www.city-kirishima.jp/gakusyu/kyoiku/kominkan/shokai/kokubu/kokubu.html>

参加者 / 宮崎・鹿児島両県の出場チームより、代表者1名(大人/代理可能)を含む最大3名まで

抽 選 / 各チームの参加者(最大3名)のうち、1名(選手でも大人でも可)。

日程調整会議 / 抽選会後に、各パートに分かれての日程調整会議を行う。

(その時点で決められるだけの試合予定を組み、残りの試合は後日に調整)

※同じパートになったチームの連絡担当者が集まり、顔合わせや連絡先交換、現在のチーム状況や今後の主な予定、確保グラウンド等の確認を行う「日程調整会議」も大変重要な機会です。

進 行

自主対戦制で全試合を進めていく。

各パート内で試合の日時や会場等を決定して試合を実施し、結果報告までを各チームで行う。

◆仕組み=自主対戦制

抽選会でパート分け(組み合わせ)と連絡係チームが決定した後、連絡係チームを中心に、同じパート内のチームで連絡を取り合って期間内に対戦していき、その結果を報告する仕組みです。

具体的には、各試合の「日時」や「グラウンド」「必要な用具(試合球やベース、石灰やラインカー等)」の手配を同じパートのチーム同士で協力して行っていきます。また、グラウンド使用料が発生する場合は、その試合を行うチーム同士のご負担となります(支払う割合・金額等についてはお互いに話し合って決定)。

◆連絡係チーム(各パートに1チームずつ)

担当: 抽選会で決まったチーム。

内容: そのパートの旗振り役として、

①試合の調整や管理等を主動的に行っていく。

②何か問題点や疑問点が生じた場合は集約し、大会本部/吉田へ連絡する(=連絡窓口の一本化)。

◆結果報告=試合の当日午後8時まで

1. 試合終了後、その試合の**勝利チーム**が「試合結果記入用紙」の該当箇所を全て記入する。
2. 記入後の「試合結果記入用紙」を両チームで確認し合う。
3. 勝利チームが「試合結果記入用紙」を撮影して、LINE送付する。
4. 大会本部/吉田がその結果(試合結果記入用紙)を「☆ちびマッチHP」にアップしていく。

@受信した「試合結果記入用紙」は **そのまま** 「☆ちびマッチHP」にアップするため、見やすい文字・数字をはっきりとご記入の上、明るさや鮮明度に注意されて撮影下さい。

@「試合結果記入用紙」の送付が試合終了の連絡となります。

@ **試合の当日午後8時まで**に「試合結果記入用紙」が届いていない場合、その試合は無効となります。

→ 勝利チームは「試合結果記入用紙」のLINE送付を忘れないようにご注意ください。

◆試合結果記入用紙の原本/抽選会の際に配布し、「☆ちびマッチHP」にもアップします。

◆試合結果記入用紙の送付先

→ 右記QRコード (後日に連絡)

※試合連絡公式LINE

(LINE登録をお願いします)

**※必ず、試合の当日午後8時まで
送付下さい!**

◆結果更新/大会本部・吉田は各試合の結果を「☆ちびマッチHP」に、翌火曜日の17時迄にアップしていく。

百田陽菜旗争奪第15回記念ちびマッチ選手権九州大会 開催規則

※本大会は、本大会の開催規則、及び、2026年度日本公認野球規則（少年野球に関する事項）・全日本軟式野球連盟学童細則に則って行う。

- ①試合に出場することが出来る選手は、スポーツ保険に加入している小学4年生以下の選手とし、各試合の開始予定時間15分前に交換するメンバー表に記名された選手のみとする（各試合ごとのメンバー表が最優先）。
※試合開始予定時間15分前に、対戦する両チームのキャプテンと監督、審判がバックネット前に集まり、グラウンドルール確認とメンバー表交換、（両キャプテンによる）先攻・後攻を決めるジャンケンを行う。
なお、集合する時間や場所は、状況に応じて変更することも可とする。
- ②ベンチに入れる選手の人数制限は設けない。その試合のメンバー表に記名された選手は全員がベンチに入ることが出来る。しかし、大人の人数は、代表者1名・監督1名・コーチ2名・スコアラー1名・球数カウント係1名・選手の体調管理者2名の最大8名までとする（全て性別は問わず、代行者でも可）。
※大人のベンチ内での各役職は事前に、明確に決めておくこと（誰がどの役職者か分かるように）。
- ③ベンチと応援席との境界ラインは、きちんと守ること。特に、ベンチが独立していない（囲われていない）学校のグラウンド等で試合をする場合は、ベンチと応援席は2m以上の間隔（立入禁止スペース）を取ること。
- ④試合中、ベンチからの撮影は一切禁止する。
- ⑤選手と監督・コーチは各チームで統一された、背番号付きのユニフォームを全員が同じように着用することが望ましい。しかし、「ちびマッチ」では一人でも多くの選手や指導者が試合に出場することが出来たり、ベンチに入ることが出来たりすることを最優先とするため、「ユニフォームがまだ全ては揃っていない選手や指導者」、「背番号が付いていないユニフォームを着用した選手や指導者」の試合への出場やベンチ入りを可能とする。
※背番号の数字は、選手・指導者共に問わない。
- ⑥全ての試合は**5回まで**とするが、**70分**を越えると新しいイニングには入らないこととする。
※1秒でも残り時間があれば新しいイニングに入るが、70分を越えると新しいイニングには入らない。
※試合成立の条件は、4回を終了した場合、もしくは、開始後55分を経過した場合とする。
※後攻のチームがリードしていて、後攻チームの攻撃中（裏の攻撃中）に、試合開始から70分が経過した場合は、その時の打者の打席が完了次第、そのイニングの途中でも試合終了とする。
※時間厳守を全員徹底し、グラウンド上は選手も指導者も常に全力疾走を心掛けること。
＝選手たちには「時間を気にすること」や「時間を守ること」、「全力疾走の大切さ」などを学び、上記の各規定内で試合が出来るように努めてほしいと思っております。ですので、指導者や応援団、審判の皆さんも、ご理解とご協力を宜しくお願い致します。
（例：必要以上にタイムを取らない、選手をむやみにマウンドに集めない、すぐにサインを出す、頻りに打者を呼び寄せない、選手たちのプレーを止めてしまう声掛けを応援席からしない、等）
- ⑦試合時間の計測係は、次の通りとする。
 - ・予選リーグ／各試合の一塁側ベンチチーム（若番チーム）が計測係を担当することとする。
※計測係は一回表終了時に、試合開始時間を球審と三塁側ベンチチームに伝える。
 - ・九州大会／各試合会場の本部チーム（＝実行委員会チーム）が計測係を担当することとする。
※計測係は一回表終了時に、試合開始時間を球審と両チームに伝える。
- ⑧上記⑥の規定内で勝敗が決しない場合は、タイブレーク（無死一・二塁、打者継続、交代可）を1回行う。それでも勝敗が決しない場合は、タイブレーク（同条件）を更にもう1回だけ行う。
しかし、それでも同点の場合は、最終出場選手9名によるジャンケン（5勝先勝）によって勝敗を決する。
※九州大会での決勝戦のみ、決着が付くまでタイブレークを繰り返すこととする。
- ⑨全試合、点差によるコールドゲームは無しとする。
- ⑩申告敬遠は取り入れるが、指名打者（DH）制度とピッチクロックは取り入れない。
- ⑪投手板（ピッチャープレート）から本塁までの距離は**14m**、塁間は**21m**とする。

- ⑫特定の選手のみ負担をかけ過ぎないようにするため（選手の体を守るため）、また、一人でも多くの選手たちにピッチャーの経験を積ませるため、同一投手の投球制限は、**1日1試合まで・1日60球まで**とする。
1日2試合以上の投球は、たとえ投球数が少なくても禁止する。
※1球投げて交代しても、1試合としてカウントする。 ※タイブレークでの投球数もカウントする。
※投球数が60球に達した場合は、その時の打者の打席が完了するまでは投球を続けることができる。そして、その打席が完了次第、投手交代を行う。
- ⑬投球数のカウントについては、次の通りとする。
- ・予選リーグ／対戦している両チームで、両チームのピッチャーのそれぞれの投球数をカウントしていく。
※イニング終了ごとに、両チームでそれまでの投球数を確認する（目視のみでも可）。
 - ・九州大会／各試合会場の本部チームが、両チームのピッチャーのそれぞれの投球数をカウントしていく。
※イニング終了ごとに、本部チームが両チームとそれまでの投球数を確認する（目視のみでも可）。
- 投球数のカウントに誤りが判明した場合は、すぐさま正しい投球数に訂正する。
※60球を超えて誤りが判明した場合、60球に達していた時点には戻らず、すぐさま投手交代を行う。
＝誤りが判明しても、前には戻らない。
- ⑭試合中の投手の準備投球（ピッチング練習）は、登板直後は7球以内、以降は3球以内とする。
※投手の準備投球（ピッチング練習）を含む攻守交替は全力疾走で速やかに行うこと。
- ⑮ボークについては、次の通りとする。
- ・予選リーグ／投手がボークと見なされる行為を取った場合は同一試合・同一投手に限り、一度目は注意としてランナーを元の塁に戻し（ノーカウント）、二度目からは勉強のため、通常のルール通りにボークを宣告する。
※ボークの場合、審判は、「なぜボークなのかの理由」と「正しくはどうすれば良いか」をそのピッチャーにその場できちんと伝えること。
 - ・九州大会／通常のルール通りにボークを取ることにする。
- ⑯選手がホームランを打った場合、その直後にボール交換の希望を申し出て、代わりの新しい試合球（マルエス軟式J号試合球）を出せば、そのホームランボールと交換して、打った選手にプレゼントすることができる。
- ⑰審判の判定は絶対とし、判定に関する抗議や質問等は一切認めない。当然、暴言・野次等も厳禁とする。しかし、ルールに関する質問のみは監督（監督不在の場合は監督代行のコーチ）一名だけが出来ることとする。ただし、その者の質問するマナーが悪い場合、審判はその者に退場を宣告できる。
- ⑱応援に関して、次の内容をチーム内で確認・共有し、全員で厳守すること。
1. 応援は必ず所定の位置で、マナー良く行うこと。特に、相手チームや審判に対する暴言・野次・抗議等（「落とせー!!!」「捕るなー!!!」「今の判定はおかしい!!!」等）やスポーツマンシップに反する行為等は決して行わず、常に選手たちのお手本となる様にすること。
 2. 会場の近隣住民および相手チームへの考慮として、道具（メガホンなど）や楽器、音響機器などの使用は、ベンチ内外問わず、試合中だけでなく、練習中や準備中も一切禁止とする。
※監督またはコーチが選手への「指示用」として、1チームにつき1つのみのメガホンの使用は可。
 3. 上記の内容や再三の注意にも反して違反行為を続けた場合、審判や主催者の判断により、その当該者をその試合から除外することや、その試合を没収試合にすることも出来る。そして、当該チームの翌年の大会出場権を剥奪することも有り得る。
- ⑲試合後のグラウンド整備や次試合のライン引き等は、その試合を行った両チームで協力して行う。そして、ベンチや応援席を離れる時はその度に清掃し、ゴミ等を一切残さず、使用前よりもきれいにすること。
- ⑳グラウンド内では全面禁煙とする。各会場の喫煙が可能な場所で喫煙をした後は、各個人が責任を持ってその場をその度にきれいに清掃し、歩きタバコやポイ捨ては絶対にしないこと。

試合中や練習中、また、移動中に事故や怪我等が生じた場合は各チームで全ての責任を持ち、速やかに、しかるべき処置を行うこと（主催者は一切の責任を負わない）。各チームで、選手の保険証（コピー）を持参しておくことが望ましい。そして、今大会における次の行為は一切禁止します。

① 暴力・暴言・罵倒 ② 試合中、ベンチからの撮影・バックネット裏での応援や撮影 ③ SNSによる批判



ちびマッチ選手権九州大会 歴代上位チーム

第1回(2012年)

[Aブロック]

優勝：宇美ジュニアーズ球団
準優勝：照景ハンターズ
第三位：福岡ボンバーズ

[Bブロック]

優勝：大野リトルファイターズ
準優勝：中原少年野球クラブ
第三位：大野城少年野球

第2回(2013年)

優勝：月の浦フェニックス
準優勝：大野城少年野球
第三位：照景ハンターズ

第3回(2014年)

優勝：弓削キング
準優勝：二日市ジュニアーズ
第三位：甘木ゴールデンフェニックス

第4回(2015年)

優勝：福岡三苦ヤンキース
準優勝：泗水ウエストレイズ
第三位：清水スカイヤーズ

第5回(2016年)

優勝：福岡三苦ヤンキース
準優勝：泗水ウエストレイズ
第三位：筑紫野リトルホークス

第6回(2017年)

優勝：大野城少年野球
準優勝：中間南ドリームス
第三位：福岡三苦ヤンキース

第7回(2018年)

優勝：大野城少年野球
準優勝：原北ウイングス
第三位：青景ベースボールクラブ
第三位：西原村学童野球クラブ

第8回(2019年)

優勝：安徳ヤングファイターズ
準優勝：菱形U&U少年野球クラブ
第三位：夜須イーグルス
第三位：可也ジュニアロイヤルズ

第9回(2020年)

優勝：志免ブラザーズ
準優勝：立岩クラブ
第三位：IBCレイカーズ
第三位：筑紫ビッキーズ

第10回(2021年)

[福岡大会]

優勝：矢部メッツ
準優勝：月の浦フェニックス
第三位：長位少年野球部
第四位：花房ベースボールクラブ

[佐賀大会]

優勝：三田川少年野球クラブ
準優勝：有田中部球友クラブ
第三位：神埼球友クラブ
第三位：北茂安少年野球クラブ

第11回(2022年)

優勝：城少レッドスターズ
準優勝：三浦シアターズ
第三位：新栄少年野球部
第三位：上峰・北茂安合同

第12回(2023年)

優勝：堤ヤンキース
準優勝：須恵リトルベアーズ
第三位：木屋瀬バンブーズ
第三位：中霧野球スポーツ少年団

第13回(2024年)

優勝：新宮ジュニアオーシャンズ
準優勝：菱形U&U少年野球クラブ
第三位：堤ヤンキース
第三位：桜山野球スポーツ少年団

第14回(2025年)

☆九州大会(単独チーム部門)

優勝：福岡ジュニアファルコンズ
準優勝：宇土ブルーナイン
第三位：住吉ベースボールクラブ
第三位：彼佐見鴻ノ巣少年野球クラブ

☆九州決戦(合同チーム部門)

優勝：三田川・東脊振合同
準優勝：三桜ボーイズ

